

素にて上質

JCLIFE

2020年
10月号



一般社団法人尾道青年会議所 <http://www.ojc.or.jp/> 〒722-0035 尾道市土堂2-10-3 尾道商工会議所ビル3F
TEL:0848-20-1110 FAX:0848-20-1112 E-mail:ojc@urban.ne.jp Facebook:<http://www.facebook.com/isojcnow>



9月18日（金）、一般社団法人尾道青年会議所はコロナウイルス感染症対策として9月例会を初めて全てをリアルタイムでのオンライン例会として開催しました。

本例会では、株式会社アイムサ

プライ代表取締役社長、幸継舎志動塾代表の伊豆田先生よりご講演をいただき、テーマを「コロナウイルスがもたらす未来の経営」とし、コロナウイルスが我々に与えた変化、そしてその変化とともにたらされる経済・経営の変化についてお話をいただきました。

今、日本各地で猛威を振るうコロナウイルス、このコロナ禍でも会社、社員を守り、明るく活気溢れる社会を取り戻せるように我々には何ができるのか、全員で考える場となりました。

またZOOMの機能を利用して例会アンケートを集めなど従来には無い新しい試みがたくさん詰まっていた臨場感と参加感のある学びの多い例会となりました。

これからも明るい

豊かな社会の実現の為邁進してまいります！

（記事…眞のしあわせを知る
経営者育成委員会 委員長
岡本 大輔）

9月例会



『尾道花火打ち上げプロジェクト「2020』』に多数のご支援をいただき、誠にありがとうございます。

当プロジェクトを9月8日開始し、早々に大変たくさんの方からのご支援をいただき目標金額150万円を達成する事が出来ました。

また、こんなにも多くの方が尾道のために温かいご支援をしてくださっている事を受けてネクストゴールを設定し、現在この目標金額220万円も達成する事が出来ました。

たくさんの皆さまの想いを込めて、プロジェクト成功へ向けて進んで参ります。

ありがとうございます。

「2020年 尾道」

何もない、なんてことはない。

お一人お一人の想いを集めて、尾道の夜空に美しい花火を咲かせましょう。

引き続き皆さまの温かいご支援とプロジェクト成功へのご協力を宜しくお願ひ致します。



（記事…夢・希望・憧れ委員会 委員長 高山 敦好）

卒業生スピーチ



高橋洋樹

卒業予定者気分といふのも味わつていらないんですけど、話させて頂きたいと思つております。まずJC高橋に入会した経緯なんですか、どうも、井上設備の井上先輩から3年間、『お前入れや』と軽い感じでお話をいただきました。ただいまして、3年間お話をいただきました。3年目に断つたらちよと男としてどうなんかと、3回言われて3年待たして断つたらどうなんかと思つて、ましてその時は入会したんですけども正直ね、今色々人生経験を積みまして3年越えでもいいじゃん4年でも5年でもいいじやんと思つておりますけども、当時はそういう気持ちがあつて入会させていただきました。

年度は幹事としてブロック実行特別委員会にまわる花形になると思うんですけど広島県の12LOMのブロック大会をね、設える。尾道でやるんで設えるといった委員会に配属されまして僕と高升純君。幹事を仰せつかりまして、やつておったんですけども、意味が分からんと、やりようとの意味がマジで分からんと純君分かる? 分からん! 俺も分からん。でもついていくしかないと。いいながらやつてたんですけども、結果何か月かをすごしましてその当時その委員会でゆうのがMr. JCの集まりで川崎副実行委員長、そして山北副実行委員長、そして谷原さん、中谷さん、森川さん、武也先生のメンバーで1年間突っ走つていったのを無理やりついていたみたいな1年でございました。実際

プロック大会というのを経験させていただきまして、台船を用意してそして式典をして、たからい事をしてそれぞれが責任をみんなもつて委員会メンバーをはじめ担当の人が責任をもつてやつております。そういった中で1年プロック大会を一緒にやらせていただきまして、JJCで上げえたと正直思いました。こんなことをするんだと。俺の思つていた次元を超えてるなと大丈夫か俺とそう思つたんですけど。そこでやらしていただきまして、この年なんですけども一つ悩み事がありまして、僕と純君で付いていくのが精いっぱいでございまして、なにをしようるんかわからんと。そのうち見えてくるだろうと頑張つてやつてたんですけど、川崎耕平副実行委員長からいろんなラスマントを受けまして、これマジの話です。マジで復讐しようねと、そんな話をしながらやってまして、そんな時に美ノ上さんが、NHKの動画で仕事の流儀ってのがあるんですけどパワーハラの動画を委員会全メンバーに流してくれると言わしてもらうと、プロック大会の宝市の設営の時に森川さんが設営をしてたんですけど、おばあちゃんがいまして車をよけてあげようとした。そうゆうときに僕らの失敗の歴史がありますんで、言わしてもらおうと、プロック大会の宝市の設営の時に森川さんが設営をしてたんですけど、おばあちゃんがいまして車をよけてあげようとした。それを根こそぎ武也さんのくるまでやっちゃいましたして、俺的にはショックだったんですけど電話かかってきたまして、「お前なめどんか」と「なめてはないです。絶対なめてないです。俺はこの件に関して誰よりもショックうけとる」お前はめちゃくちゃ笑ふよと。「いや絶対笑つないと」あれは人間つて不思議なもので防衛本能なんで人間つてふしぎなものでございます。

で加度理事長の会社で委員会とかしたんですねけど夕方に集まりまして、委員会をしますと。加度理事長が今日はこうゆう話をして議案をまとめますと、じゃあぼく手伝いますと、議案をまとめようとなつたときにがメールで議案が届くんですけど400ページ以上ありますと、やっぱ、こんなのマジ付きあえん、その時は逃げてしまいまして申し訳ございません。その分今は委員長をさせて頂いてその分は返そうと2年目から変こし自分の会社が代替わりとか仕事が状況が変わらまして仕事が増えましてJCに参加することが出来なくなりまして2年目の終わりから3年目にかけてなりんですけど。

ど同期の日暮委員長同期なんで頑張ろうと思つて
いたんですけどなかなか参加することが出来ず、
いまはこうゆう風な立場でいますけど日暮委員
長はこんな委員を抱えて大変だつただろうなと思
いと何かで返すねという思いでいます。やつてくれ
といわれたことをしつかりやつてほしいとおもいま
す。

先輩が入会したときによく言われてたんですね。
けど。「時間はつくれるよ」といわれてましてつく
れんよと思つてたんですけど、2年目3年目を過ぎ
してると意外とほんと作れてくるもんで、だ
んだんJCの活動ができるんじやないかとおもう
ようになりまして、4年目で河原研介委員長の下
で委員として参加させていただいたんですけどそ

の時にみなとまつりで謎の道というので、謎を解いてゴールまでたどり着くっていうものなんですね。家族で大人子ども含わせてみんなで親近感でゴールを目指していくんです。そうゆうのを見てるとJCってすげえなと。ちょっと涙が漏れまして。

うゆう事業考えた研介先輩すげーなつて思いまして。そのときにまた同じ年なんですけど防災事業というので学校に行つたんですけど地震が起きた時にじやどうする、どう対処する、どう備えるっていう授業なんんですけどこれも子どもたちも純粋ですごく聞いてくれるんです。先生として扱つてくれるんです。先生つて言われるのはすげー楽しいんです。そうゆう事業をしましてJ-Cつて団体つてのほんますぐ一団体なんだと改めて思いまして、

さんが委員長をやりまして最初からずっと直感だと思つんですけど、尾道といえは寺でしょ、寺といえはフエスでしょとその寺とフエスが繋がらなかつたんですけど、すーといつづけて寺で例会をしまして寺フエスつてのをやつたんですけど、そこで来ていただいたお客様もそうですが僕がダンスの担当になりましたそこまで言つたらが帰り際に「JCのイベントだつたらまた呼んで」とそんな感じでお話をされましてそんな可能性があるんだなーと。

そんなとき(大本)まこつちゃんと副委員長の(高橋)健太君、半年間理事事をやれやれと言われましてそこまで言つならやりますよ。やらしてもらつたんですけど、実際やるんであれば色々にかけてもらつたり、楽しくさせてもらつた人の顔を思い浮かべましてその人たちの恩返しの為に委員長をやろうと思つたんですけど、逆にやつてみて思つたのは当委員会をはじめ色々皆さんに助けてもらつたことが非常に多すぎて感謝してもしんでえなどいうぐらいいろんなものをもらつた1年でした。

今年はこうゆう状況でも入会を決意してくれた候補者の皆様とかありがとうの1年。人生最大のありがとうの1年だつたんじやないかなというふうに思います。

ここからは一言いわせていただきたい、最後にちょっとお話をさせて頂きたいのは僕は逃げ続けました。色んな無理だと出来ないとかそういうふうに逃げ続けたんですけど僕やりましたんでみんなやれや(笑)

目の前に何かしら絶対みんなありますって!必ず目の前にこの団体に今ここにおるつことは何かしら役割がありますつて。やれやと。だつておれやつたもん。やれや。やつちやえよ。常に加度理事長がハイがYESかこれつてほんと理になつてゐると思うんです。できる出来ないぢやない。やるやらないぢやない。やるまでやりきる。なんでやるしかないのでやれや。で僕ら卒業生できません。だつたらみんなでやるしかないぢやん。みんながちよつとずつやれや。やつちやえよ。楽しめよ。僕はプロックも壊しましたし、2年目で西山先輩の前で金屏風ぶち破りましたもん。ぶち破つてあの西山先輩の苦虫を躰み潰したような顔は生忘れません。でもこれいい思い出じやないですけど、去年先輩も言つてましたけど「ミスせーやーらんやつはミスもせんのんじや

け。やつちやえよ！やつぱ色んなね…。

川原浩太『今もミスしとるどー時間時間』

洋樹『あ：ごめんなさい。そういうことで卒業生スピーチと致します。ありがとうございました!!』



中谷 純也

いなと思います。

ノープランで来てしまった小中の同級生なのですが、30歳の時小学校の同窓会で会うてその時に「のちのち加入に行くよ」と言っていたので、少しちばぐになるかもしれません、最後までもしかれませんが、最後まで聞いて頂ければと思います。

(高橋)洋樹君が大分おしゃべりで、(目当の娘じやないのに)気に入つてらつしやつたので、太田先輩と聞いて頂ければと思います。

たので僕は早く終わらせた

いなと思います。

何を話したら良いのかと思つていていたのですが、未

来ある方々が沢山いますので、僕が体験したこと

を少し話すのが良いのかなと思い、自分の印象に残つたことを少し飛ばす年もあると思いますが、話していくとかと思ひます。

24年はすみません、全く出ていなかつたので、LOM歴としてはあれだと思うのですが…。

25年の時に幹事として入りました。その時は、濱中先輩の委員会で祭り委員会だったのですが、この時の思い出としては、やっぱり卒業旅行が印象に残つていて、濱中先輩から「お金を前に渡すけえ、誰にもお金を使わざず、とにかく遊んで、旨いものだけ食つて帰りたい」と言うことで、以前に名古屋に住んでいたものですから、名古屋に卒業旅行に行きました。その時に次会は「風来坊」と言う普通のありきたりな所に行つたのですが、二

次会は濱中先輩が「すごくかわいい女の子がどうしても欲しい」と言うことで、厳選して事前にこういう娘がリストにいますというのを濱中先輩の会社にて携帯で全部見せながら、「じゃあ、このN.O.3の女の子が良いけれど、このN.O.とでキヤバクラを予約しまして、実際に行つたのですが、予約が取れてなくて、それでもVIPラン

ジに通して頂きました。その時に濱中先輩から先行つて頂いて、席が足りなくて、太田先輩と高垣先輩と僕の幹事だけが少し離れた席にいたんですね。そして適当に女の子が座つて、濱中先輩に付いた女の子がちょうどぼつちやりで、(目当の娘じやないのに)気に入つてらつしやつたので、太田先輩と聞いて頂ければと思います。その時に、副幹事としては、幹事としては、濱中先輩が嬉しそうだから、まあいかなつてことで、トイレに行った時に「光るドンペリが今なら3万円」と書いてあって、太田先輩と高垣先輩に言つたら「よし、入れろ」と濱中先輩を差し置いて、お金を出して頂いた濱中先輩に先に出すべきだつたらうなと思うのですけが、太田先輩と高垣先輩と僕だけで、とりあえず5本開けちゃいました。濱中先輩も途中で気が付いて「なんか光つる飲み物があるじゃないか、どうなつとるん中谷」と呼ばれまして、「なんかドンペリが安いらしいですよ」と言うと濱中先輩も「開ける」と言って、あれよあれよという間に6割を越えてしまいまして、予算の中でやりくりしないといけないという話だったのですが、「もう、打ち止めです」と言つとめちやくちや怒られました。「もう予算が無いので、今日はこれぐらいいにしてください」と言つて、濱中先輩は名残惜しかつたのか、その日、空の光るドンペリを名古屋の錦で人抱え、皆で恥ずかしい思いをしながら歩きました。

翌年は、政成委員会なのですが、ここは政成君

が腸が腐つて死にかけたといふ委員会の思い出が

ある委員会です。その翌年がプロック大会で、先ほ

ど(高橋)洋樹君が言つていた委員会に所属してい

たので(高橋)洋樹君が話をしていたので、ここは

飛ばさして貰おうかと思います。

翌年28年、私委員長を仰せつかつて、未来ビジョ

ン委員長と言つた委員長をやることになりました。

この年、委員長を受けて10月に室合同をやつて、12

月に父親が臍臓癌と言つたのが分かつて結構大変な年だったです。その時、美ノ上副理事長と井上

先輩と卒業予定者の山本邦人先輩と委員会メンバーには、すごく助けて頂きました。その中でもす

ごく美ノ上副理事長にはご迷惑をかけたと言いますが、委員長をやつていた時結構一生懸命だったのですが、一回結構ガチでぶつかつて「なんで分かつてくれないの」と思つていましたけど、自分が副理事長をやつした時に、副理事長をやることによつて責任だから、そういうものが見えてきて、あの時は申し訳ないのや」と思つていましたけど、自分が副理事長をやつたなと結構思つことがあります。その時の副理事長には結構噛みついたりとか、自分の中ではすごく一生懸命やついた分「なんで分かつてくれんだ」と言う思いが強くて、結構噛みついたなあと自分の中では思います。その事に関しては、美ノ上副理事長にはすごく助けて頂いたと思っていました。「ありがとうございます」

自分が委員長の時にサバイバルゲームがやりたないと言つて、結構やつたかなつと思うのですが、上副理事長にはすごく助けて頂いたと思っていました。

自分が委員長の時にサバイバルゲームがやりたと言つて、結構やつたかなつと思うのですが、上副理事長にはすごく助けて頂いたと思っていました。

今年はコロナつていうことで、小川委員長に結構いろいろ気を使って頂きながら、楽しませて顶いています。最後まで頑張つて頂きたいなと思っています。

思い出はここまでにして、現役メンバーと言います。「あの時は、ありがとうございました。」

翌年29年、地域の希望育成委員会で副委員長をやらせて頂いたんですけど、川原(獎)先輩のJ.C歴で一番楽しかつたと思っていたのが、この年で

思つた。大前君が幹事でいろいろ無理難題を「お金がないなら自分らで作ればいいじゃん」と言う感じ

で、鐵板を曲げたり、竹を切りに行つたりして、凄く思い出に残る委員会だつたなと思います。この委員会で一番記憶に残つてゐるのが、川原(獎)先輩の委員会旅行で委員長に最後はやり切つたと言つた。

最後に二言ですね。先ほども(高橋)洋樹君からあつたと思いますけど、理事はどうこうとは言つて

なかつたと思いますけど、是非理事をやつて頂いて、やれないと思つてゐる方もあるとは思つますけど、やれない理由を探すより是非どうやつたらやれるかを考えて頂いて、折角このJ.Cに入つて40歳で終わるつて言ふのがあると思います。折角入つたのであれば、何かしら変わるべきだなと僕は思ひます。

委員長なり理事なりやるといろんなん人と接する機会が増えて、いろんな人と出会うことによつて価値観だつたり、自分が思つて無かつたことが経験で

大きくなることもあります。なので、いろいろ大変なこともありますとは思つてますが、是非やつてみようか、どうやつたらやれるのかを考えて頂いて、理事だけが全てだとは思ひないですけど是非、理事をやつていただければと思います。簡単ですけど卒業生スピーチとさせて頂きます。ありがとうございます。

でもらうと言つてテーマが出来て一番感動したといふのが「番印象深い年でした」。

その後、委員やつたり副理事長をやつたのです。が、副理事長は先ほども言つた様に見える立場が違つて、今岡専務だつたり、川崎さんだつたり、山北理事長だつたり、今岡専務だつたりに凄く助けて頂いたなと思います。結構しんどかつたなあと思つています。

今年はコロナつていうことで、小川委員長に結構

いろいろ気を使って頂きながら、楽しませて顶いています。最後まで頑張つて頂きたいなと思っています。



彰谷 紀

こんばんは、どうとうこの時間が来てしまったという感じです。
まずは加度理事長を始めとする事務局、運営の皆様このような素晴らしい機会を頂き誠にありがとうございました。

昨日言いたいことをまとめきました。まずは入会のきっかけですが、僕の父親がO・Bということもありそのうち自分が入会するんだろうなという気持ちでいたところ、お誘いもあり入会することになりました。
仮入会員の時は出席もできず「ほんとに入るの?」と言わながらも本入会となりました。

1年目、2年目は一生懸命できることをやらせていただきたいと思っています。その時の委員長と一緒に頑張りましたが、その分自分の言いたいことを意見させて頂き、それなりに頑張りました。周りからは「いいやつが入ったぞ」と思われたのか3年目で理事をさせて頂きました。委員長として理事になり、気付いたことが理事側の輝きというものを見させていただきました。やはりフロアにいると見えないものがあります。運営していくうえで様々なことを考えていて行かないといけないですし、自分がやらないと何も進まないというところで、その当時の同期の委員長たちはみんな輝いていました。自分は「こいつやっぱいな」というくらいやばかつた大変な時でした。でもそんな中で現役の委員会メンバーである岡田健吾君、中司君には本当に助けてもら、総務委員会らしく「おもしろいムービーを作つてみよう」ということでの時はめちゃくちゃ楽しかったです。

担当事業の卒業例会では委員会メンバー全員で前日まで頑張って作り上げた例会であり、これができたということで私の中で誇りとなっています。当時の委員会メンバーへあとどうと感謝を申し上げます。

4年目は副委員長として委員長の島田元太君を支えていました。(島田)げんちゃんは委員会を開くにも前日からしっかりと資料などを準備をし、事業の組み方、家族会、学校の教育事業どれをとっても一緒にできることを誇りに思っています。ありがとうございます。

5年目は中司委員会でしたが、事業を通して防災を先駆けて行い、会にとてもいい事業になつたのではないかと思います。

6年目は森川委員会では大変迷惑をかけましたが、本

会員資質の向上という目的もあり、会のことを考えてチケットの向上にむけた事業や1月例会、新年宴会でもみんなで一致団結しようやということで赤く燃えたおもしろい1年でした。

7年目は鍋島委員長の総務委員会でした。鍋ちゃんはなんかひょうひょうと何でもこなす印象でした。こちらでは何もすることないなという感じで進めてもらい、総務としてきっちりとしっかりとやり遂げられたのではないかと思います。その時に話をしたことが「僕らの生きる意味は何だろ」という会話になり「やっぱり次世代をそだてる」と「J.C.」「J.C.」という私の意見に対し「僕は興味ないっす」という感じでした。早く子どもを作ってください。

8年目は大前委員長はよく頑張っていました。大脱出という防災事業をやりましたが、大前委員長は事業当日までは組み立てなどの段取りで忙しくしていましたが、当日はプロアメンバーに任せて全体を見る役割をしていました。この事業は本当にいい事業でした。

同じ年に高山さんを委員長とする幹事としてプロックへ出向しました。高山さんは当時J.O.Mでは理事の経験がない中で、まったく知らないメンバーとやり取りをしながら事業を組み立てていき、決めたことを即行動に移すところが素晴らしいと感じました。プロックは正味初めて深く関わったのですが、意外と楽しいもので、ぜひ皆さんにも機会があればプロックへ出向してみてください。

最後、今年は高橋洋樹委員長の委員会でこのコロナの状況の中で(高橋)洋樹君は腐らず頑張って結果出して事業も組み立てていて本当に尊敬します。最後に(高橋)洋樹君の委員会でよかつたんじゃないかと思います。(高橋)洋樹君は私の尊敬するひとりにならんだんじゃないかと思います。

J.C.をやる意味ですが何かを成し遂げるということじゃないかと思います。理事をする理事の委員長を支えるでもいいので、成し遂げる意思を持つてください。自分ができただとかは別としてせつかく会に所属して、お金・時間を使ってるんだからそこで何か掴まないと損でしかないし、絶対に掴めるものもあるし掴もうと思えば掴める場所だということがJ.C.だと思います。ぜひ何かを求めて行動するということを心掛けてもらえればいいのではないかと思います。

最後にこいつとななら何か一緒にできるな、話を聞いてくれるという仲間を作つていてほしいし、そんな場所でもあるんだと思っています。長いようで短いようなJ.C.生活でしたが、J.C.に入つてよかったです。最後の気持ちです。皆さんそんな風に思えるようなJ.C.ライフを送つてください。

どうせなら わらってしまえ 闘病記

編集後記

HP

facebook



総務広報委員会の島田です。1月に両肘を骨折し、只今手術後のリハビリ中でして、何かと皆様にご迷惑をおかけしております。

この記事を書かせて頂くきっかけからお伝えしますと、入院中に当委員会の鍋島君がお見舞いに来てくれました。手術後の痛みも激しく、病院は心細く、本当にありがたかったです。その彼が開口一番、「JCライフに闘病記書いて欲しいんですけど」といって、その場で筆を借りて書いてもらいました。



(記事:島田昌広)

いんだけど!!「鬼か!!(汗)」この人確かに医者さんだと聞いたことがあります。ニコニコしながらとんでもない人です。彼が帰った後、副委員長の岡田さんに「鍋島君からひどい依頼がきました。怪我人つかまえて、どう思いますか?」と苦情を言うと、「あ、それ委員会で満場一致で決まりました。」です!!(汗)皆さん、これがJCです。使えるものは全て使う。経営者の鏡です。結局のところ、同期の山本委員長の差し金ですので、断れません。手首も捻挫し、手はクリームパンのように腫れ上がり、得意のブラインドタッチは見る影もありませんが、精一杯、職務を全うしたいと思います。

しかし東京は怖いところです。通勤ラッシュの階段で人混みにぶつかり、転落した私が倒れていても誰も声をかけてくれません。トランクとバックを拾ってくれる人すらおりません。愛する尾道であれば、あっという間に人だかり間違なことです。結局自力で歩き、駅員に声をかけ、救急車で搬送。その後、東京で2日入院し、尾道に戻り手術をし、退院後のリハビリという経緯で現在に至ります。

人生初の手術は大変な苦痛でした。担当医からは「それほど難しい手術じゃないから40分くらいで終わるよ」と聞いてましたが、結局たっぷり2時間です。眠っている間に終えて欲しいので、睡眠薬を注入しましたが、緊張と興奮状態では効かないことが多いらしく、さっぱり眠れません。私は生々しい音を聴きながら苦痛に耐えていますが、医者は看護師と楽しそうに世間話をしながら、メスを入れます。もちろん麻酔が効いているので、痛みはありませんが、楽しそうにメスを入れられると、心が痛みます。ともあれ無事に手術を終えることができました。担当医、自画自賛の大成功です。まあああだけ楽しそうに看護師と話して失敗したら出るところですよ、ホントに…。

次回は地獄のリハビリ編です。またJCライフにてお会いしましょう。

(次月号に続く…予定)